

## 9 週 人間の墮落

**質問 13.** 私たちの最初の祖先は、被造された地位のまいましたか。

**答え I** 私たちの最初の祖先は、任意に従い、神に罪を犯すことによって、被造された地位から墮落しました。

### 解説

#### 自由意志

自由意志とは、自分の心に従って誰の干渉を受けずに、選択したり、拒否したり、行ったり、行わなかったり、これをしたり、他のことをしたりする自由を意味します。このような自由意志は、善を選ぶこともでき、悪を選ぶこともできます。人間が最初に造られた時の自由意志は、善と悪を選べる同時的なものでした。人間の自由意志は従順することもでき、不従順することもできました。神がこのような自由意志を与えたのは被造物である人間が、神に進んで従順することで栄光を帰させるためでした。そうでなかったなら、人間は、ただ人形劇の人形に過ぎなかったからです。

このように人間の自由意志の自然的性質は、善を行えるようになっていました。しかしそのような状態から一変し、悪に傾いてしまう可能性もあったのです。

人が罪の状態に墮落したことによって、自由意志は腐敗し、善を行える自由意志の力は、完全に喪失してしまいました。

## 罪を犯した

アダムとエバが造られた時、傷のない状態でした。神は正しく純粋な状態に人を造りました（伝道書 7:29）。さらに人は、神の戒めを守れる能力も与えられていました。その能力は、聖さと知識も含まれます。しかし、神が食べてはならないと禁じた善悪の実を食べることで、罪を犯しました。人は自分の意思の決定によって罪を犯したのです。勿論、悪魔の誘惑に説得され、悪巧みによって欺かれ罪を犯したのです（Ⅱコリント 11:3）。人は、自由意志を持っていたので、神の戒めに喜んで従順することで神に栄光を帰すべきだったのに、それらから離れてしまいました。ここで「罪」とは、神の戒めを破ることを意味します。

## 罪を犯したことの効果

神が人間に付与した自由意志は、罪を犯したことで、それからは、善を選んだり、善を追及したりすることから離れてしまいました。罪に対する効果によって、彼らが味わっていた特権は取り去られ、それ以上、聖さと知恵と能力は無くなってしまいました。神が造られた完全な状態から離れ、今度は、死と苦しみを味わう悲惨な状態に置かれてしまいます。それからの人間の意志は、善なるものと、聖なるものとは反対に、肉的なもの、情欲的なもの、世的なものを好んで選ぶようになりました。それで人間は、罪と罪過によって死ぬしかない状態に至ったのです（エペソ 2:1-2）。

一層、人間を誘惑した悪魔は、人間を自分の奴隷とし、神に敵対させ、人間社会が、さらに神を排除する場として造られて行く方向に、戦略を広めました。

## 回復の必要性和可能性

人間はこのように、墮落によって、これ以上、自らは望みのない存在となってしまう。しかし神は、被造物が墮落した時、再び新しい契約という方式で人間と和解することを望まれました。それでアダムに、恵み契約を与えました（創世記 3:15）。罪を犯し、神から遠く離れてしまった人間は、神が造られた恵み契約の中で、神と和解することができるようになりました。これは、神が自ら用意したものとして、ご自分の民に、また約束なさったことです。決して人間が、行為や功勞を積みあげて、成し遂げることはありません。